



議会だより

しらたか

12月定例会
山形県白鷹町議会

Vol.161

2024年1月16日発行
(令和6年)



とし
良い歳でありますように

えと
鷹山地区千支づくり教室

暮らしに安心を、人口減少に歯止めを 政策提言 . . . ②p

事業所などに経済支援 定例会の概要 ④p

ここが聞きたい 一般質問で町政を問う ⑥p

輝く地域の力 白鷹の未来を彩る「JA白鷹地区青年部」 . . . ⑬p

お手持ちのパソコンやスマートフォンなどで議会中継をご覧ください。録画でもご覧いただけます。



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。

この広報は、議員の自主編集で発行しています。

人口減少に歯止めを



3 魅力と活気にあふれる「しごと」づくり

- ◆安心して働ける産業の振興に向けた取り組みを進めること。
 - ・関係団体等との十分な話し合いにより、町の産業全体の実態を把握
 - ・原油高騰や人手不足に対するきめ細かな経済対策と、その効果を最大限に発揮できる取り組みの推進
- ◆人材の確保と人手不足の解消を図ること。
 - ・若者が大学などを卒業後に、地元で就職できる環境の整備
 - ・若者の起業や創業の促進
 - ・企業による人材の確保に対する支援
 - ・外国人労働者の方に向けた、日本語教室の充実や空き家の利活用支援



にぎわう産業フェア

暮らしに安心を、

政策を提言

消防団の機能強化や移住・定住の取り組み、人材の確保など、差し迫る課題の解決・対応に特化した政策を町長に対し提言しました。来年度予算に具体的に反映されるよう強く望みます。

1 安心して暮らせる「まち」づくり

◆消防団の機能強化と地域防災力の充実強化を図ること。

- ・ 消防装備品の充実や施設の更新、消防水利の確保
- ・ 消防団員OBや女性消防団員確保のため、機能別消防団員や機能別消防分団の導入

◆快適で安心できる道路環境の整備に向けて取り組みを進めること。

- ・ 地元要望箇所の計画的な整備の推進
- ・ 国道287号と主要地方道長井白鷹線の改築、国道348号の高規格化による再整備の推進
- ・ 黒滝橋の拡幅に向けた取り組みの推進



企業も協力した防災訓練

2 移住・定住、郷土を愛する「ひと」づくり

◆住んで良さを感じてもらえる、移住・定住に向けた取り組みを進めること。

- ・ 移住者のためのワンストップ窓口の強化
- ・ 本町の子育て支援施策のピーアール
- ・ 若者世代が住みたくなるような情報の積極的な発信
- ・ 経済的支援の充実
- ・ 空き家を活用した移住体験・お試し移住の実施
- ・ 空き家情報の発信を充実



元気にかけっこ(さくらの保育園)

12月
定例会

定例会の概要

期 間 12月7日から15日（9日間）
 審 議 補正予算10件 条例設定1件 条例改正8件
 ※原案のとおり可決
 請願審査1件 採択

一般質問 金田 悟 議員 【持続可能な農業振興対策について】
 丸川雅春 議員 【水道事業を持続可能なものとしていくために】
 衣袋正人 議員 【小規模事業者に対する経済対策について】

補正
予算

事業所などに経済支援

長引くエネルギー価格高騰への対策

原油価格や電気料金の高騰が長引くなか、
 影響を軽減するために各事業者・事業所
 などに支援を行うもの。

- 財源：重点支援地方交付金（国）

5・12ページ
に関連記事

事業者にも原油価格等高騰対応への支援

- 省エネ設備導入支援事業費補助金 800万円
- 原油価格等高騰対応支援給付金 2500万円
 対象：町内に事業所がある法人または個人事業主

介護施設などに物価高騰対策の支援

- 介護施設等物価高騰対策支援給付金 410万円
 対象：町内の介護および障がい福祉サービス事業所

保育所などに給食費の支援

- 保育所等給食費支援事業費補助金 88万8千円
 対象：町内の保育所など

学校給食費への支援

- 学校給食費支援事業補助金 150万円
 対象：町内の各小中学校

一般会計補正予算の主な内容

有害鳥獣対策事業費 有害鳥獣処理施設整備に向けた調査	100万円
ふるさと移住応援プログラム 申込状況や事業実績見込み等に基づく追加計上	230万円
可搬式冷房機器導入事業 熱中症対策としての可搬式冷房機器導入	400万円
空き家対策事業 申込状況や事業実績見込み等に基づく追加計上	150万円
中学校体育館等改修事業 中学校体育館等の改修に向けた実施設計	1200万円
住民税非課税世帯電力・ガス食料品等価格高騰 支援事業 住民税非課税世帯等の負担軽減	8980万円
介護施設等物価高騰対策給付金 介護施設等に対する支援	410万円
原油価格等高騰対応支援事業 町内事業者への支援	3370万円
食と農村交流施設環境整備事業 園芸ハウスの活用に向けた環境整備	△250万円

13ページに関連記事

など、2億5017万円を補正し、一般会計総額は95億3637万円となった。

◎財源は、国・県支出金、寄付金、繰越金などで対応。

※万円未満は端数調整



補正予算の
主な質疑

企業版ふるさと応援
寄付金

【横山委員】初めての応援寄付金であるが、今後どう取り組むのか。
【商工観光課長】金融機関が業務提携している企業より寄付をいただけることとなった。今後はホームページ等で広く周知し、寄付金をいただける体制を取っていきたい。

有害鳥獣処理施設整備へ

【笹原委員】有害鳥獣対策事業について、どのような内容か。
【農林課長】町単独で処理施設整備を検討していくため、さまざまな調査を進めるための予算措置となる。

13ページに関連記事



石川県七尾市の処理施設

ふるさと移住応援プログラム

【竹田委員】今年度の実績と今後とれだけのプログラムを見込んでいるか。傾向はどうか。
【企画政策課長】11月末現在で15世帯から相談を受けている。今後も含め、20世帯、約70人を想定している。20代の方が多い。

体育館への冷房機器導入

【佐々木委員】この時期に可搬式冷房機器を導入する理由は何か。
【教育次長】中学校体育館の空調設備整備には一定の期間を要するため、まずは可搬式で対応したい。また、地震など有事の際にも活用したい。

12ページに関連記事



録画を配信

厳しさを増す酪農業への振興策をどうする

町長 耕畜連携により飼料の自給化に向け取り組む

酪農業の振興策

問 生産体制などへ継続的に支援すべきと思うが、所見を問う。

町長 耕畜連携による自給飼料生産をモデル的に実施できないか生産者団体や関係機関と検討している。

農地の有効活用策としても期待しており、実現に向けて引き続き取り組んでいく。

問 経済的な支援をどう考えていくか。

農林課長 引き続き状況をしながら対応していく必要があると考えている。



自給飼料の確保に向けて

問 酪農の現状は。

農林課長 令和4年度の生産額調査によると、生産額約10億4000万円、農家数24戸、飼育頭数1086頭。今年12月の状況では、農家数19戸、飼育頭数878頭である。

問 酪農をやめられた方の牧草地をどう活用していくか。

町長 農地をそのまま生かしていけるような環境をつくりながら、一つのアイデアとしてはデントコーンを取り入れていきたい。

酪農家のみならず、耕種農家の皆さんにもご理解いただいて考えていきたい。

農地の有効活用

問 農業の基盤である農地の有効活用をどう進めるか。

町長 将来の農地利用の姿を明確化する※「地域計画」の策定を目指していく。将来の土地利用を方向付ける重要な取り組みとして捉えており、地域の実情に合わせて徹底した話し合いとなるよう準備を進めていく。

問 地域計画策定の実施主体はどこか。

農林課長 最終的には町が策定するとなつているが、その計画に基づいて具体的に行動していただくのは、地域の皆さんである。

園芸振興対策

問 新規就農者の受け入れや担い手の確保対策と併せた園芸振興対策を伺う。

町長 白鷹町農業再生協議会や新規就農者受入協議会で議論を深め、さまざまな施策により対応していきたい。

問 園芸振興策として20万円を毎年予算化しているが、将来に向けた予算化の考え方は。

農林課長 市場動向、生産技術に精通した関係機関とも連携し、検討していく。

問 生産者団体などが将来ビジョンを町に

提示し、合議のうえ町が予算化していくべきと思うが、町長の考えを伺う。

町長 生産者団体で要望をまとめて提示していただければ、どうしても育成が可能かを考えていけると思う。

私もひとこと

酪農業の衰退は、地域の農業全体に大きな影響を及ぼすため、継続的に支援すべきです。
(町内60代)

※「地域計画」

地域農業の在り方を示した「人・農地プラン」から「地域計画」に名称が変わり、「目標地図」の作成が新たに義務付けられました。「目標地図」は、高齢などにより耕作ができなくなった場合、次の耕作者へスムーズに引き継がれるよう、10年後の農地利用の将来図となるものです。



金田 悟 議員

水道事業の国における所管替えのメリットは

町長 効率的で計画的な整備の推進につながる



録画を配信

所管替えのメリット

問 水道事業の国における所管が国土交通省と環境省に移管される。本町の水道事業へのメリットをどう捉えているか。

町長 水道事業が特別の財政援助などに関する法律などの対象となり、災害復旧に対する国庫補助が法的に担保されることなどで、災害対応の強化が図られる。ほかの社会資本と一体となった効率的で計画的な整備の推進も考えられる。

給水人口の減少

問 水需要の減少に合わせた水道設備の整



丸川雅春議員

備も必要になると思う。今後、水道事業経営戦略の中でどのように位置づけていくのか。

町長 経営基盤の強化、施設の再構築、広域連携の3点を基本的な考え方として位置づけ、具体的な取り組みを検討していきたい。

耐震化対策

問 災害に強いまちづくりの一環として、水道設備、施設の耐震化対策をどのようにしていくのか。

町長 仮に被災した場合でも速やかに復旧できる体制の整備は必要不可欠である。

水道管更新時の耐震

管への交換や、浄水施設や基幹管路の耐震化、病院や避難所への給水ルートを優先的に耐震化するとともに、基幹管路の複線化などの取り組みが重要と捉えている。

問 国では令和7年度までに基幹管路の耐震適合率を54%にする目標を掲げているが、本町の対応状況はどうか。

上下水道課長 本町の状況は20・2%と捉えている。適切な費用を捻出、確保しながら、耐震化の推進に取り組みが必要だと考えている。

町長 できるだけ早く耐震化を行っていきたい。国土交通省に移管になることにおいて、まだ見えない部分もあるので状況を見定めながら取り組んでいきたい。

スマートメーターの検討状況

問 宅内漏水の早期発見や水の使用状況の見える化にもつながる水道スマートメーターの導入に向けて検討しているか。

上下水道課長 情報収集を行いながら検討を進めてきたが、メーターが高額で、通信費などの固定費などがコスト増になるため、導入が進まない状況にある。

問 費用対効果を踏まえた実証実験も有効と思うが、いかがか。

町長 設置については、都市部であれば非常に効果が高いと思う。長井市が行っているので情報収集しながら効果を見極めたい。

消防水利との関連

問 消防水利の確保に係る消火栓整備について、水道事業としての考え方を伺う。



耐震化に向けて

私もひとこと

蛇口をひねればすぐに水が使えることに感謝します。これからも安定した供給をお願いします。（町内60代）

上下水道課長 国の基準緩和を注視しながら、西置賜消防白鷹分署や総務課防災管財係などと情報、方向性を共有し、適切に対応していきたい。



録画を配信

小規模事業者に対する経済対策をどうする

町長 状況把握に努め、必要となる支援策を実施する

小規模事業者に対する経済対策

問 アフターコロナの厳しい経営状態における、雇用を含む経済状況をどう捉えているか。

町長 国・県の経済報告では、穏やかに回復している。本町の経済状況も、基本的には同様の状況と認識している。国と県の動向を注視しながら、町内事業者の状況把握に努め、必要となる支援策を実施する。

※ゼロゼロ融資後のゆくえ

問 融資の利払い実質免除期間による返済



衣袋正人議員

が本格化し始めているが、商工会や金融機関との連携など今後の町の対応はどうか。

町長 国策の状況を確かめながら、町も無限に資金があるわけではないので、どのようなものができるか状況を判断しながら取り組みを進めたい。

問 年末から年度末の資金需要増対策

町長 原材料費や燃料光熱費が高額になる事業者に対する支援策を検討してはどうか。

人材確保対策

問 ようやく人的交流も活発化し始めた。経済活動の活性化による労働力不足にはどのように対応しているか。

町長 行政が中心となつて進めるよりも、商工会などが中心となり、それぞれの事業を展開している皆さんでそのような声が上がると認識している。行政はそのような声が出てきたときに支援するようなことだと思う。

事業の存続に向けて

問 事業継続・承継を断念せざるを得ない事業者と新規開業者のマッチング事業などの取り組みを検討してはどうか。

町長 行政が中心となつて進めるよりも、商工会などが中心となり、それぞれの事業を展開している皆さんでそのような声が上がると認識している。行政はそのような声が出てきたときに支援するようなことだと思う。



私もひとこと

辞めるのは簡単だが、続けるには厳しい時代だなあ。

(町内70代)

※ゼロゼロ融資

中小企業や個人事業者に対する利子補給の制度。

実質無利子無担保融資を受けられる。最も長い場合、最初の5年間は元金の返済が免除される。

条例設定・改正

●白鷹町下水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴う関係条例の整備に関する条例の設定

白鷹町下水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴い、関係条例を整備するもの。

●白鷹町監査の執行に関する条例の一部を改正する条例

地方自治法の一部改正に伴い、引用条項を整理するもの。

●白鷹町手数料徴収条例の一部を改正する条例

戸籍法等の一部改正に伴い、広域交付による戸籍証明書の交付手数料を規定するなど、整備するもの。(下図参照)

●白鷹町国民健康保険条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部改正に伴い、整備するもの。(出産する方の産前産後期間の国民健康保険税を減免)

●白鷹町病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

地方自治法及び地方公営企業法の一部改正に伴い、引用条項を整理するもの。

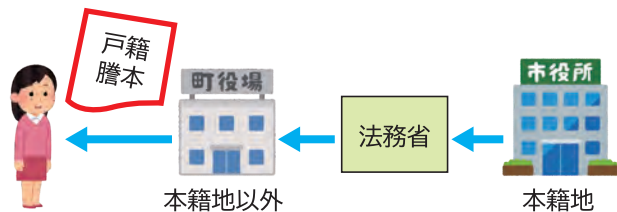
ほか4件 計9件を可決



戸籍証明書の広域交付 ～戸籍法改正と手数料改正の主な内容～

◆戸籍証明書・除籍証明書の広域交付

令和6年3月1日から、本籍地以外の市区町村の窓口でも、戸籍証明書・除籍証明書が入手できるようになるもの。



広域交付による交付手数料

戸籍証明書・・・450円
除籍証明書・・・750円

※これまでの証明書の交付手数料と同額

請願審査

●鮎貝地内の町道路線の認定

フラワー長井線と旧中野商店との間から南へ延びる私道約75mの路線を町道として認定するもの。 **請願を採択**



今年で12回目となる年末の干支づくり教室は、「キルトフレンズ花」代表の新野先生の指導のもと、来たる歳に願いを込め、辰の置物を和気あいあいとしながらも真剣に製作していました。

● **良い歳で**
ありますように!
鷹山地区
干支づくり教室

表紙

総務厚生常任委員会 12月13日

計画の効率的な推進に向けて

白鷹町振興実施計画(案)について説明を受けた。

【概要】

振興実施計画は、総合計画を受けて実施する具体的な事業の内容を示す計画であり、期間は令和6年度から8年度の3カ年。

- コンパクトプラスネットワーク
- デジタル化
- ・ AIやICTを活用した行政サービスの向上など
- 人づくり
- ・ 地域のリーダー確保対策プロジェクト
- ・ 出生数増加対策プロジェクト
- 産業・経済
- ・ 「地域経済循環」構築プロジェクト

○地域力

- ・ 「職住育近接」実現プロジェクト
- ・ 暮らしを守る地域活力UPプロジェクト
- 定住化
- ・ 若者回帰対策プロジェクト

質疑

デジタル化

委員 デジタル変革の加速について、この3年間でどう進めるのか。

当局 ICTを活用し、行政サービスの向上を図りたい。

町長 デジタル化の進展は著しい。町民の幸せ向上のために、丁寧に取り組んでいく。

地域経済循環の構築

委員 「地域経済循環」構築プロジェクトは、どう取り組むのか。

当局 評価は事業ごとだが、最近の検証結果は2018年のものであり、事業を再度検証し、どう取り組んでいくか検討したい。

振興審議会

委員 審議会委員の構成はどうか。公募委員もいるのか。

当局 山形大学の教授や教育関係者など10人の構成。

町長 公募しても応募がない状況だが、委員からは中身の濃い意見をいただいている。

安心して暮らせるまちづくり

白鷹町第10次高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画の策定（中間報告）について説明を受けた。

【基本理念】

みんなで支え合う地域共生社会の実現
～住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができるまちづくり～

【高齢者施策の展開】

- 健康寿命の延伸
- 地域包括ケアシステムの更なる深化・推進
- 認知症施策の推進
- 保険者機能の強化
- 高齢者の安心安全な生活の確保
- 地域での見守りと災害対応

質疑

介護人材の確保に向けて

委員 町内の特養ホームのショートステイが



健康で長生き

休止になる。町はどう働きかけたのか。

町長 介護人材が減少したためということであった。続けてほしいという話をした。できるだけ早く解消するように働きかけていく。

委員 定住施策として、介護人材への家賃補助などの考えはどうか。

当局 さまざまな視点から意見交換し、行政として何ができるのか幅広く検討していく。

委員 今年度、介護人材確保事業を予算化した。補助条件を緩和していく考えはないか。

当局 さまざまな意見をいただいている。条件は検討させていただきたい。

その他
○白鷹町第7期障がい福祉計画及び第3期障がい児福祉計画の策定（中間報告）についてなど、説明があった。

東部工業団地の土地利用形態を適正な配置へ変更

白鷹都市計画用途地域の見直しについて説明を受けた。

【概要】 白鷹都市計画用途地域 について

白鷹都市計画用途地域は、土地利用の状況や周辺環境との調和を図るとともに、現在の土地利用の動向を勘案しながら、良好な市街地形成と合理的な土地利用の促進を図るため、令和4年4月に現在の用途地域に変更されている。

これまでの経過と今後のスケジュール（説明 時点での予定）

○令和5年10月4日
・白鷹都市計画審議会報告

○令和5年11月29日
・住民説明会

白鷹都市計画用途地域の 見直しの概要について

今回の見直しは、東部工業団地の一部が実際の土地利用形態と一致しない箇所があることから見直しを行い、適正な配置へ変更するもの。

新たに工業専用地域

・ 図書の公告・縦覧

・ 白鷹都市計画案の変更

・ 令和5年12月下旬から2週間

・ 山形県土整備部都市計画課と事前協議

・ 令和5年12月下旬から2週間

・ 白鷹都市計画案の変更

・ 図書の公告・縦覧

質疑

規制緩和の効果

委員 環境規制の緩和と建築物用途制限の緩和とはどういふことか。

当局 工業専用地域の指定は、騒音規制が緩和され、操業しやすい環境になる。準工業地域は、建てられる施設の選択肢が多様になる。

町長 準工業地域にした場合、職場から近いところに、アパートなど宿舍の設置が可能になる。

期待したいスムーズな引継ぎ

白鷹町ふるさと森林公園再整備について説明を受けた。（12月1日）

【運営の引継ぎ状況】

現在のアルカディア財団（以下財団）職員に、10月31日から11月1日に株式会社HES TA大倉（以下ヘスタ大倉）より2回目の雇用面談を実施。財団が整備した資産を町が責任をもって引き継ぐため、取得に向け調整を行っている。

質疑

再雇用の意向

委員 2回目の雇用面談について、現財団職員の状況はどうか。

当局 4人が退職の意向があり、2人が迷っているとのこと。

委員 経理や管理部門の職員は、継続してやっていくのか。

副町長 4月1日以降の財団は調理場の業務等になるので、森林公園の経理はヘスタ大倉で行う。財団の経理は財団職員が当たる。

【スケジュール】

○令和5〜6年度

総務厚生常任委員協議会

11月27日

中学校体育館・武道館へ空調設備を整備

中学校施設の機能強化について説明を受けた。

【現在の活動環境】

夏休み期間中、体育館・グラウンド共にW BGT(暑さ指数)は、厳重警戒またはそれに近い値を示している。この猛烈な暑さは、今後も続くことが予測され、生徒の活動を制限せざるを得ない状況で

あり、設備面で対策を検討する必要がある。

【今後の対応】

体育館の空調設備は「学びの保障」の観点から、体育館を使用できない期間をできるだけ短くするため、床の改修と一体的に整備を行い、武道館も一体的に進める。

【概算事業費】

白鷹中学校改修工事 2億3800万円
武道館改修工事 8900万円

【財源】

学校施設環境改善交付金や過疎対策事業債などを見込んでいる。

質疑

いつ使用するのか

委員 常態的に使用するのか、特別なときに使用するのか。

当局 暑さ指数が高い時には授業などでも使用していきたい。

工事期間

委員 工事により体育館を使えない期間はどれくらいか。

当局 長期休み期間などで工事していきたいように学びに支障がないよう学校と協議して進めたい。

冷暖房完備

委員 設備の機能は冷房だけか、暖房もできるのか。

当局 冷暖房両方に使える設備を見込んでいる。

学校給食費は値上げせず

教育委員会所管の緊急経済対策について説明を受けた。

◆学校給食費支援事業

原材料価格は高止まりの状態が続いており、値上げすることなく給食を提供するための対策。

○対象：町内各小中学校 学校給食費

○対象経費：原材料高騰相当分

○補正額：150万円

○財源：重点支援地方交付金(国)

◆文化交流センター管理特別対策事業

エネルギー価格の上昇に対する緊急的な対応。

○対象：文化交流センター「あゆむ」

○対象経費：エネルギー価格等高騰分

○補正額：120万円

○財源：一般財源

◆学校給食調理等業務特別対策事業

栄養価が高く、おいしい給食の提供に向け、エネルギー価格の上昇に対する緊急的な対応。

○対象：学校給食共同調理場

○対象経費：エネルギー価格等高騰分

○補正額：300万円

○財源：重点支援地方交付金(国)

質疑

給食の無償化は

委員 学校給食の無償化についての方向性はどうか。

町長 給食は教育の一環であると考えている。



負担がゼロでは保護者の関心が得られなくなると思う。どういふものを食べてきたか興味を持ってもらいたい。無償化についてはまだ対応していかないが、質の向上には十分対応していきたい。

その他

○住民税非課税世帯電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援事業についてなど、説明があった。

更なる経営発展と農業振興のために

食と農村交流施設の譲渡と園芸施設の活用について説明を受けた。

【概要】

食と農村交流施設は、指定管理者制度により有限会社どりいむ農園が管理・運営を行っている。直売所の会員数や売り上げは安定しており、更なる経営発展のため令和5年度の協定満了をもって施設を譲渡し、民間での運営に移行するもの。

うち産直施設
○譲渡内容
無償譲渡

【園芸施設について】

園芸施設を解体し土地を地権者に返還する予定であった。しかし、今後は改めて町において取得し、産業振興に幅広く活用いただける方へ貸し出していく。具体的には再造林に必要となるスギ苗の生産施設として活用していきたい。

【進捗状況】

園芸施設については採算性に課題があることから、有限会社どりいむ農園では産直施設のみを運営していくこととしている。
○産直施設譲渡先
有限会社どりいむ農園
○譲渡物件
食と農村交流施設の



質疑

運営方法は

委員 町の直営ではなく、委託するのか、貸し出すのか。

町長 町と関連のある林業会社が意向を持っており、貸し出す方向で検討していきたい。花粉がほとんど出ないスギ苗を育てていきたい。



有害鳥獣被害の減少に向けて

有害鳥獣処理施設整備の検討について説明を受けた。

【広域処理検討の経過】

置賜広域行政事務組合で10回にわたり広域処理の検討を実施してきた。しかし、各市町の方針がまとまらず、施設整備のスケジュールの先送りが確認された。

【町単独での整備の検討の内容】

本町では、新たにニホンジカなどの被害も想定されることから、有害鳥獣処理の省力化などを図るため、町単独で有害鳥獣処理施設整備の検討を進める。

【施設整備のスケジュール】

○令和5年12月

質疑

他市町からの受け入れ

委員 他市町から来たものも受け入れるのか。

町長 置賜地域については、1頭当たりの処理費用を明確にして話をしていきたい。村山地域については、個々に話をしていく。取り組むとなった段階で、費用計算をして準備していく。

施設調査とは

委員 どのような調査を行うのか。

当局 処理能力、施設規模、周辺地域の環境調査、法的な手続きなどを調査対象としていく。



その他

○令和5年度12月補正緊急経済対策関係事業について、説明があった。

議員管外研修

9月20日～22日

議員管外研修を、東京都内こども家庭庁、神奈川県開成町で行った。

こども家庭庁

令和5年から新たに内閣府に設置されたことを受け、その役割や今後の取り組みなどについて学んだ。

こども家庭庁の役割

スローガンを「こどもまんなか」とし、大人が中心となってきた社会を子ども中心社会へと作り変えていく。

これまで各省庁で担っていた少子化対策、子どもの貧困、いじめや虐待などの課題について、事務の一元化に

より、子ども政策の司令塔として総合的に調整すること。

新たな取り組み

子どもや若者の意見を反映する仕組みづくりや、子ども・若者の居場所づくり、幼児期までの子どもの育ちに関する指針を策定すること。

まとめ

少子化については、あらゆる視点から取り組んでいるが、なかなか効果が表れないのが現状と把握している。発足したばかりで、現時点では意見聴取や議論段階の検討中であり、今後の動向を注視し展開に期待したい。

開成町議会

人口増加率が、神奈川県内で1位の町。議会改革・議会活性化等の取り組みについて、開成町議会議員の方々と意見交換を行った。

議会改革の主な取り組み

○ 通年の会期制の導入
必要に応じて会議を開催できる。また専決処分がなくなった。

○ 日曜議会の開催

令和4年6月議会で無料託児サービスを実施。傍聴席が満席となる。

○ 議会報告会の開催

町民、自治会、各種団体などを対象に、毎年開催。コロナ禍では動画を配信し、視聴回数が1792回となった。

○ 議会広報の改革

「読む」から「見る」魅せる」改革を行



開成町議会にて

い、タブレット判へ変更。また、議会ウェブサイトを開設し、動画配信している。

取り組みの成果

・ 議会だよりについて、賛否が届くようになった。

・ 動画の再生回数により町民の反応が数字として実感できるようになった。

・ 議員自らの「動き」を通じて発信することが浸透し、開かれた議会の実現につながっている。

まとめ

通年議会の導入については、当議会も検討の余地があると考え、議会報告会については、ご意見を伺う機会を確保する観点からも検討課題とした。

町民の方々に議会を身近に感じていただくための議会活性化の取り組みを検討するうえで、たいへん参考になるものであった。

議会運営委員会研修

11月15日～16日

山ノ内町議会

議会運営と活性化に関する研修を長野県山ノ内町で行った。

議会運営について

- ① 監査機能の強化
- ・ 予算決算審査委員会



を常任委員会としており、決算審査などにおける議会の機能を強化している。

- ② 政策立案、チエツク機能

・ 基本構想や基本計画の策定などを議会の議決事項に定め、策定段階から関わり、策定とともに、進捗状況などについて常に検証などを行い、チエツク機能を発揮している。

③ 議員間討議

・ 全員協議会において全議員の意見等を聴く場を設けるほか、予算や決算の審査の中で自由に討議を行うなど、議員間で自由な議論が行われるように工夫している。

議会活性化について

① 議会報告会

・ 町内5会場で開催しており、町民の方の意見を聴くこと、活動を知ってもらうことなどや、参加者の意見を一般質問に結びつけており、成果が表れている。

② 子ども議会

・ 議会への関心を高めるため機会とするため開催し、子どもならではの感性での提言が多く出され、実現に向けて検討が始まったものもある。

③ 広報活動

・ 議会だよりは年4回の発行だが、全戸配布の労力の軽減や経費の節減の観点から、町広報誌との合冊にしており、多くの人に見てもらおうための工夫を行っている。



まとめ

議会活動を多様な方法で周知しており、直接住民の意見を聴く活動が、議員のなり手不足の解消や町当局への

提言へと結びついている。これらのことが町の発展へとつながっていくという重要性を再認識した。

町村議会広報全国研修

9月27日～28日

広報誌づくり基礎の基礎

広報誌づくりは、地域住民の議会情報周知のための手段であり目的ではない。多くの住民が閲覧しやすい広報誌を目指すため、磨くべき基本は、「企画力」「編集力」「デザイン力」の三つが重要である。

「企画力」においては永続的、恒久的テーマ性のあるものを企画する。「編集力」においては議会運営姿勢や変化する住民心情を理解し分かりやすく工夫し伝える。「デザイン力」においては色の印象や特性を理解し、企画意図、編集に合わせ可変対応する。これらが大切であると指導を受けた。

若い力を結集し、
一緒に活動しよう。



佐藤 哲也 さん (西高玉)

輝く地域の力

白鷹の未来を彩る

JA白鷹地区青年部

… 新たな発想でチャレンジ …

JA白鷹地区青年部委員長の佐藤哲也さん
にお話を伺いました。

JA青年部とは

農業協同組合運動を推進し、実践活動を通じて、部員相互の教養を高めるとともに親睦を深め、地域における農業と文化の発展に寄与することを目的に活動する組織です。

白鷹町内に居住し、目的に賛同する青年をもって構成し、現在60人で活動しています。

活動内容は

主な活動は、町内の小学校および保育園へ出向き、田植え、稲刈りなどを子どもたちと一緒に行う食農教育を行っています。

産業フェアでは、おにぎりの振る舞い、親子おにぎり体験などを行います。

また、山形おきたま農協主催の「青年組織発表」などの意見発表会に出場し、活動を披露しています。そこで優秀な場合、県・東北・全国大会へと進んでいきます。数年前、東北大会へ出場した仲間がいました。

加入して良かったこと

加入のきっかけは、農業を実践している同級生からの「悪魔の誘い」があり、2012年に

就農と同時に入部しました。農業をしている仲間との交流が深まり、視野が広がり、新たな可能性が見つかりました。

課題は

以前は、青年部独自の収穫感謝祭と称しての飲み会に多くの仲間が集まったものですが、参加人数が少なくなってきています。みんなが集まれる内容を再検討する時期に来ていると思います。

これからの方向性

地区外からの人たちをどんどん呼び込み、新たな考えを取り入れた活動を行い、組織を活性化していきたいです。また、各地区で問題となっている耕作放棄地を少しでも解消し、地域貢献できたらいいなあと思っています。



議会へひとこと

春先の田植えから稲刈りまでの作業を議員自らが行って、米づくりの楽しさと苦労を体験してほしいと思います。

取材を終えて

厳しさを増す地域農業に正面から向き合い、果敢に立ち向かうJA青年部の姿がありました。今後の活動に期待します。

(金田)

編集後記

あけましておめでとう
ございます。

能登半島地震により被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。

昨年は異常なまでの猛暑が続き、農作物に大きな被害が発生しました。自然の力は大きく、人間の力は微々たるものであると改めて痛感しました。さて、今年「辰年」です。政治に大きな変化が起きることが多い年と言われている。また、重要な国家プロジェクトが始まることが多いのも辰年の特徴のようです。

激動する昨今ですが、さまざまな困難を乗り越え、日本がそして白鷹町が飛躍する年にしたいと思います。

(金田)

広報委員

委員長 丸川 雅 春
副委員長・編集長 佐々木 誠 司
委員 金 田 悟
委員 竹 田 雅 彦
委員 衣 袋 正 人
印刷・梅津印刷



発行責任者 白鷹町議会議長 菅原 隆男 編集 議会広報特別委員会

〒992-0892 山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥甲833番地 電話 0238-85-6135 FAX 0238-85-2128
E-mail gikaijimu@so.town.shirataka.yamagata.jp HP http://www.town.shirataka.lg.jp/gikai/

お手持ちのパソコンやスマホなどで議会中継を
ご覧いただけます。録画でもご覧いただけます。

議会だよりへの「ご意見・ご感想」などを
議会事務局までお寄せください。